

















モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタットボルトの状態
3	1次冷却材温度 177℃以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 93℃超 177℃未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 93℃以下(RCS 満水)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 93℃以下(RCS 非満水)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度 93℃以下(キレ予い 低水位)	1本以上が緩められている
6-2	1次冷却材温度 93℃以下(キレ予い 高水位)	1本以上が緩められている(全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際には、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

別表

## 長期施設管理方針実施状況総括表

3号炉 長期施設管理方針実施状況総括表

長期施設管理方針№	長期施設管理方針に基づく活動内容		実施時期	第25号保全サイクル実施計画	進捗状況	備考 ( )内は実績を記載
	機器又は系統名	部位と経年劣化事象				
1	蒸気発生器	伝熱管の損傷	中長期	-	未実施	
2	原子炉容器	胴部(炉心領域部)の中性子照射脆化	中長期	-	実施済	(第24号保全サイクルで実施済) 原子炉容器の胴部(炉心領域部)の中性子照射脆化について、原子炉の運転時間および照射量を勘案し、第5回監視試験の実施計画を策定した。 実施計画に基づき、第24回定期検査にて監視試験片の取り出しを実施した。
3	ドレン系統配管	母管腐食(流れ加速型腐食)	短期	-	実施済	(第22号保全サイクルで実施済) ドレン系統配管について、第22回定期検査期間中にサポートの追設を実施した。また、この工事を反映した耐震安全性評価を実施し、当該系統において必要最小肉厚 <sub>tsr</sub> までの減肉を想定しても、耐震安全性に影響がないことを確認した。
4	基準地震動による評価が必要な設備	耐震安全上考慮する必要がある経年劣化事象	短期	-	実施済	(第21号保全サイクルで実施済) 基準地震動Ss-2~7に対する評価(弾性設計用地震動Sd1による評価を含む)が必要な全ての機器・経年劣化事象について、評価を実施した結果、耐震安全性に問題はなかったことを確認した。
5	主変圧器	コイル絶縁低下	短期	-	実施済	(第23号保全サイクルで実施済) 主変圧器の取替を実施した。

※ :「高浜発電所原子炉施設保安規定」添付6の3号炉 長期施設管理方針番号

※※ :第25号サイクル当初での状況を記載